



野村万作

2017 夏季 狂言の会



野村萬齋

第21回

ふくおか「萬齋の会」

福岡

公演日時 平成29年 7月29日(土) 7月30日(日)
午後1時開場/午後2時開演 午後1時開場/午後2時開演

公演場所 大濠公園能楽堂

入 場 料 椅子席:8,640円(税込) 栈敷席:6,480円(税込)

主 催 ふくおか「萬齋の会」

後 援 西日本新聞社・TNCテレビ西日本・FBS福岡放送・福岡県
福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・西日本鉄道・JR九州

協 賛 舶来品のレイメイ・積水ハウス(株)福岡支店・久原本家グループ

20周年特別記念公演

熊本「万作・萬齋の会」

熊本

公演日時 平成29年 9月9日(土) 午後1時開場/午後2時開演

公演場所 熊本県立劇場

入 場 料 S 席:8,640円(税込) A 席:6,480円(税込)
B 席:5,400円(税込) 自由席:3,000円(税込)

主 催 熊本「万作・萬齋の会」

共 催 (公財)熊本県立劇場

特別協力 熊本日日新聞社

後 援 熊本放送・テレビ熊本・くまもと県民テレビ・熊本朝日放送
エフエム熊本・FM791・熊本県教育委員会・熊本市教育委員会
熊本県文化協会・(財)熊本公德会・JR九州熊本支社
ルーテル学院九州女学院同窓会のいばら会

協 賛 積水ハウス(株)熊本支店

第21回

大分「万作・萬齋の会」

大分

公演日時 平成29年 11月4日(土) 午後1時開場/午後2時開演

公演場所 平和市民公園能楽堂

入 場 料 椅子席:8,640円(税込) 栈敷席:6,480円(税込)

主 催 大分「万作・萬齋の会」

後 援 大分合同新聞社・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送
エフエム大分・大分市・大分市教育委員会・JR九州大分支社

協 賛 フンドーキン醤油(株)・積水ハウス(株)大分支店

チケット販売所

福岡 電子チケットぴあ(0570-02-9999(Pコード458-187))
大濠公園能楽堂・ちけっとばーとバルコ店/西日本新聞社1F受付

熊本 電子チケットぴあ(0570-02-9999(Pコード458-190)) / 熊本県立劇場・熊日プレイガイド
大谷楽器上通本店・鳥屋書店 熊本三年坂 ◎連絡先/ 熊本:090-4995-2133・096-337-2509

大分 電子チケットぴあ(0570-02-9999(Pコード458-193)) / 平和市民公園能楽堂
大分キハプレイガイド/別府トキハプレイガイド/中央町プレイガイドビートタワー
◎連絡先/ 岡安:090-7274-1014 降旗:090-2583-3940

熊谷 守一「宵月」

問合せ ノマ企画 TEL:083-246-6266

チケット販売 <http://www.nomakikaku.com>

Produced by Noma Kikaku

ふくおか「萬齋の会」

7月29日(土) 午後1時開場 午後2時開演
7月30日(日) 午後1時開場 午後2時開演

■場所 大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 TEL:092-715-2155

●狂言ファイル「名」 野村萬齋

●狂言「呂蓮」(ろれん)

野村万作 深田博治 内藤連

旅の僧がとある家に一夜の宿を求める。僧の話聞いた宿の主人は、自分も出家したいと言いつく。はじめは止めた僧だが、主人が女房や親類に既に了解を得ていると聞き、希望を叶えてやることにする。更に名前をつけて欲しいと言われ、蓮の字にいろはをつけた名をいくつか提案する。そこに何も聞かされてない妻がやってきて…。



移り気な人の心に翻弄される、僧の写実な演技が見どころです。

●狂言「文蔵」(ぶんぞう) 野村萬齋 石田幸雄

無断で旅に出て前夜に帰宅した太郎冠者を主人が叱りに行くと、京都を見物で主人の伯父を見舞ってきたと言う。何かご馳走にならなかったかと主人が問うと、主人が日頃好んで読んでいる『源平盛衰記』

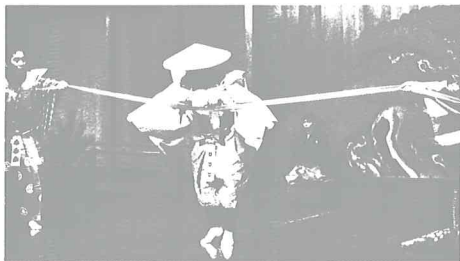


の石橋山合戦の話に出てくるものを食べたので、太郎冠者が答えるので、主人はそのくだりを語り始めるのだが…。

凛々しい若侍の真田と市と荒武者の保野の合戦を、床元に掛けたまま仕方で鮮やかに描く語りが見どころです。

●狂言「伊文字」(いもじ)

野村萬齋 中村修一 高野和憲



主人が太郎冠者を連れて清水の観世音へ妻乞いに行く。夢のお告げを受けた主人が西門へ出向くと、そこには女が一人立っていた。女は、自分の住まいを歌いこんだ歌を言い捨てて姿を消すが、残された主従は肝心の下句が思い出せない。このままでは女のもとを訪ねられないので、歌謡を作って往来の者に下句を継がせようとするのだが…。

通りかかった者に歌を詠ませる「歌謡」が何ともユニークです。情緒あふれるやりとりをお楽しみ下さい。



2017 夏季 狂言の会

熊本「万作・萬齋の会」

9月9日(土) 午後1時開場/午後2時開演

■場所 熊本県立劇場

熊本市中央区大江2-7-1 TEL:096-363-2233

●新作狂言「なごりが原」について 笠井賢一

●新作狂言「なごりが原」

作:石牟礼道子/構成・脚本:笠井賢一

演出:野村萬齋

野村萬齋 深田博治 高野和憲 ほか

熊本という郷土を深く掘り下げることで、世界文学の高みに達したといわれる作家石牟礼道子。水俣の大廻りの塘(上手)を舞台とし、荒廃した自然と生きとし生けるものへの再生の願いと祈りをこめ、新作狂言「なごりが原」が書かれ、作家の豊穣な詩劇の世界が繰り広げられる。

大廻りの塘(上手)に囲まれた森は、狐やあらゆる生きものが遊び生きる豊かな世界であった。ここには祇園祭の祭神で音曲の神である櫛稲田姫と、その夫の荒らぶる神の素戔鳴尊が上げ潮に乗って訪れ、海からあがって休息するという弁天岩がある。祭り男と呼ばれ笛の名手である笛万呂は、祇園祭の夜に見事な笛を吹いたあと、櫛稲田姫から笛の秘曲を教えるという夢の告げをうけ、この岩でまどろんでいる。

影身の草比古と影身の虫比古という狐が人間に化け、笛万呂を目覚めさす。彼らは祇園祭の終わった後の祭り「なごりの祭」に集う神々や精霊たちを、夢心地でお帰りにたたく魂送りの「いのちの笛」を吹いてくれるよう、笛万呂に頼みに来たのだ…。

やがて櫛稲田姫があらわれ、笛万呂の「いのちの笛」の音にひかれるように蓮の花を手を舞を舞う。

いま月明かりの大廻りの なごりが原にしずもりつ
いのちの花の一輪を たてまつらんとねがうなり

(笠井賢一)

●狂言のおはなし 野村萬齋

●狂言「二人袴」(ふたりばか)

野村万作 石田幸雄 月崎晴夫 飯田豪



世間知らずの聲は、男の家に一人であきつて行くのが恥ずかしいと、親についてきてもらう。ところが男の家の太郎冠者に親も見つかってしまい、二人とも家に招じ入れられるが、礼装の袴が一つしかない。困った二人は…。

明るくめでたさのある聲狂言の代表曲です。

大分「万作・萬齋の会」

11月4日(土) 午後1時開場/午後2時開演

■場所 平和市民公園能楽堂

大分市牧緑町1-30 TEL:097-551-5511

●狂言のおはなし 野村萬齋

●小舞「貝尽し」 飯田豪

●狂言「ぬけがら」

野村万作 石田幸雄



主人に使いを言い渡された太郎冠者は、たつぷりと酒を振る舞ってもらうと、上機嫌で出かけていくが、途中酔いが回って道端で寝込んでしまう。心配した後をつけてきた主人は、太郎冠者を見つけ、懲らしめのために鬼の面をかぶせてしまう。目を覚ました太郎冠者は水を飲もうとしてびっくり仰天!そこに映ったのはまぎれもない鬼の顔…。

太郎冠者の喜怒哀楽の変化がたつぷりと表現される、狂言ならではの佳作です。

●狂言「千切木」

(ちぎりき)

野村萬齋 深田博治 月崎晴夫 岡聡史
内藤連 野村太一郎 高野和憲



連歌の会の当番(当屋)が仲間を集めて歌を考えていると、仲間はずれにされた太郎がやってくる。腹を立てた太郎は、当屋の家の掛け軸や花に難癖をつけこきおろす。怒った人々は、太郎を打ちのめし放り出してしまふ。事件を聞きつけた太郎の妻は、しるる太郎にむりやり棒を持たせ、仕返しに行くよう叱咤激励するのだが…。

題名の千切木は、時機に遅れて役に立たないという意味の「静い果てての千切木」という諺からとられた言葉です。弱虫の割には強がる夫と、気は強いが大思いの妻のやりとりの妙をお楽しみ下さい。

総合

お申込み
お問い合わせ

ふくおか「萬齋の会」 熊本・大分「万作・萬齋の会」 事務局

〒752-0972 山口県下関市長府古江小路2-26

TEL 083-246-6266 FAX 083-246-6288

受付 10:00~18:00

定休・金曜日(土日営業)

●一般チケットの発売は5月11日(月)からとなっております。

●チケットの払い戻しは、おことわり致します。

●お客様のお申込みは、小学校高学年以上とさせていただきます。

※演目・日程は変更を伴う変更する場合もございます。また、その場合は、このチラシ下は、必ずようお願いいたします。